

○本学年で目指す子供の姿

- ・ 自他の生命を守ることの大切さを自分事として実感し、自分にできることを実践する子（防災）
- ・ 未来に向かって、周りの人と協力しながら、自分なりの夢をもってたくましく生きようとする子（キャリア）
- ・ 身近な環境にかかわるごみや水を見直し、自分の生活をよりよくしようとする子（環境）

月	学習活動（70時間完了）	教科・領域との関連	社会体験活動	
一 学 期	5	★4年生で取り組みたい活動について考えよう ○3年生のけやき学習のテーマのふり返りや、自然災害に関する資料から、どのような学びにしていきたいか学年で話し合おう。 ・なぜ日本は自然災害が多いのかについて追究したい。 ・自然災害から人の命を守るために大切なことを考えていきたい。	道徳科『世界に一つだけの花』 道徳科『思いやりって』	
	6	★身近な暮らしを支える「水」について考えよう ○私たちが使う水について調べ、水環境に関心をもとう。 ・家庭や学校・市で使用している水の量を調べ、身近な水が自分の生活とどのようにつながっているかを知る。 ★身近な暮らしとつながる「ごみ」について考えよう ○ごみ問題について調べ、3Rに関心をもとう。 ・家庭のごみの量や種類、ごみ収集方法やごみの行方について知る。 ・クリーンセンターの見学で、市のごみへの取り組みの工夫を知る。 ・3Rについて学び、自分自身にできることを考える。	社会科『水はどこから』 国語科『お願いやお礼の手紙を書こう』 社会科『ごみの処理と利用』 道徳科『琵琶湖のごみ拾い』	・ 男川浄水場見学 「安定して安心・安全な水を」 ・ 家庭のごみを調べ、家族への聞き取り調査 ・ ごみステーション見学 ・ 中央クリーンセンター見学 「リサイクルとごみ」
	7	★身近な暮らしと環境問題について考えよう ○ごみや水に関する学びをまとめ、自分たちでできることを考えよう。 ・ごみの分別や水資源の大切さなどを新聞にまとめ、意見交流する。 ○ごみ減量や節水など、家庭で自分にできることを実践しよう。 ★日本における自然災害の恐ろしさについて知ろう ○過去の自然災害の資料から日本の災害発生状況を知ろう。 ・災害時の写真などから当時の現場の恐ろしさを感じ取る。 ○大地震が起きたときに、自分の生活がどうなるのかを考えよう。 ・ライフライン停止時の疑似体験をし、困難な状況を実感する。	道徳科『ぼくたちのバラ花だん』 社会科『わたしたちの環境と暮らし』 社会科「自然災害から暮らしを守る 1 地震から暮らしを守る」	
	8	★災害時に自分の身を守る方法を考えよう ○防災教室で学ぼう（岡崎市防災課） ・家族でできる日頃からの備え（非常持ち出し袋、家具の固定、避難経路・避難場所の確認など）について知る。 ・非常用トイレの準備と片付け、避難所生活などを疑似体験する。 ○防災教室で学んだことをもとに自分なりの防災対策を考えよう ・家庭によって食料や水の備蓄、非常持ち出し袋の中身などが違うことを知り、自分の家族に必要なものが何かを考える。 ・大地震が起きたときに、予想される危険箇所と避難場所を実際に歩いて見つけ、地区ごとに防災マップを作る。 ・防災マップをもとに、さまざまな災害状況における安全な避難経路を予想し、話し合う。 ★城南 CITY カーニバルで、防災の学びを発信しよう ○防災教室やこれまでの調べ学習の内容をまとめ、お家の人や城南小学校のみんなに伝えたいことを決めよう。 ○城南 CITY で、防災に関するお店を開こう。 ・学年の店を運営する。（働くお店・遊ぶお店） ○学年の店の準備や運営から学んだことを話し合う。 ・防災について学んだことを生かして、これからの自分が実践できることを計画する。	道徳科『いのちをつなぐ岬』 『このままにしていたら』 道徳科『生きているしるし』 『神戸のふっこうは、ぼくらの手で』 特別活動『学級の係を見直そう』 一学級生活の向上 特別活動『カーニバルを盛り上げる作戦を考えよう』 特別活動『カーニバルをふり返ろう』	・ 防災教室（市の防災課の方の話） ・ 家の周りや避難経路の危険箇所を見つける活動 ・ 店作り計画・準備 ・ 城南 CITY の中での店の運営と勤労体験
二 学 期	9			
	10			
	11			
三 学 期	1	★自然災害に対する自助の力を生かし、共助や公助へつなげよう ○災害に対して地域の人と協力できることを考えよう。 ・学区防災訓練 ・避難経路や家庭状況の確認 ・市や学区の防災マップの確認 ・市防災課の取り組み ★自分の命をつないできてくれた人への感謝と将来への思いを伝えよう「一人一夢宣言の会」	理科『自然の中の水』 『すがたをかえる水』 道徳科『弟のふろ入れ』 『おじいちゃんのごらくごらく』	・ 1月授業参観（各学級） 「未来に向かって一人一夢宣言の会（保護者と共に）」
	2	○1年間の学びをふり返り、自分や周りの人の命の大切さを実感しよう ・これまでの感謝を手紙で伝え、自分の夢をポスターにして発表する。		
	3	★自分の生活を見直し、防災に関わって自分にできることを実行し続けよう。 ○家族や地域の人とできる防災の実践を続けよう。 ・非常持ち出し袋の内容チェック ・家族との避難情報共有 ・3Rの活動参加 ・学区清掃や資源回収への参加	道徳科『朝が来ると』	